

教科	科 目	単位数	学年・クラス
共創	トライブ・ラーニング基礎	1	1年1組・2組

1 使用教材

使用教科書	「伝わるプレゼンの法則 100」「佐田岬民俗ノート 1」
出版社	大和書房、佐田岬半島ミュージアム
副教材等	－
出版社	－

2 学習の目標

1	自分の言葉で相手にわかりやすく伝える力や会話の中から相手が真に伝えたい事・望んでいる事をくみ取る知識や技能を養う。
2	目的や場面、状況などに応じて的確に相手を理解したり、適切に表現したり伝え合ったりする力（多様性・協働性）を養う。
3	地域課題に対する理解を深め、学校内外の人々と主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	学習内容を自分ごととして捉え、探究活動に意欲的に取り組むことができる。
② 思考・判断・表現	必要な情報を適切に収集・分析することで、自分の考えをまとめた上で表現することができるとともに、他者と協働しながら探究活動を行うことができる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	学習した内容を踏まえ、課題の解決やより良い集団作りのために自分にできることを理解し、実践することができる。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
授業への取組	A	A	B	授業態度など
提出物・作品	A	A	C	指示した時期に提出
発表・プレゼン	C	B	A	内容ごとに実施

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	オリエンテーション スタートアッププログラム「書いて伝える」 「書いて伝える」 「話して伝える」 自分の好きなことプレゼンテーション	書くことで自分の思いや意見を整理し、他者にわかりやすく伝える力を伸ばす。 目的や相手に応じて、適切な表現や構成を工夫して書く力を身につけさせる。 文章を書く過程（構想、下書き、推敲）を大切にし、よりよい表現を追求する態度を養う。 他者の意見や文章を参考にしながら、自分の表現を見直す力を伸ばす。 「自分の好きなこと」について深く探究する姿勢を養う。
2 学期	多世代交流事業に向けて 「アポイント」 「インタビュー」等 『今を創る、未来を変えるトライブ』準備 『今を創る、未来を変えるトライブ』マネジメント	アポイントの取り方や、相手への敬意を込めた話し方を学ぶ中で、実社会で役立つコミュニケーション能力を身に付けさせる。 インタビューを通して、傾聴力や質問の工夫、記録の取り方などを学ばせる。 仲間と協力し、意見を出し合いながら役割分担や計画を工夫する力を高める。話し合いを通して意見を調整し、よりよい企画を作り上げていく協働的な学びを促す。 問題が生じたときには自ら考え、仲間とともに解決しようとする態度を育てる。実際の準備や当日の運営では予期せぬ課題が出ることもあり、それに対応する柔軟な姿勢を育てる。
3 学期	自己表現活動 「演劇」 学習のまとめ	収集・分析した情報などを基に、深く考察することができる力を身に付ける。 他者と協働することのできる力を身に付ける。 自己評価や相互評価を適切に行い、自らを客観的に振り返る機会とする。